

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1473300398
法人名	株式会社 コスモス
事業所名	コスモス長津田
訪問調査日	平成20年3月19日
評価確定日	平成20年6月1日
評価機関名	社団法人かながわ福祉サービス振興会

項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月23日

【評価実施概要】

事業所番号	1473300398		
法人名	株式会社 コスモス		
事業所名	コスモス長津田		
所在地 (電話番号)	横浜市緑区長津田みなみ台1-6-7 (電話) 045-988-1533		
評価機関名	社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成20年3月19日	評価確定日	平成20年6月1日

【情報提供票より】(平成20年2月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年7月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	4人, 非常勤 6人, 常勤換算 5.25人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り 2階建ての 1階 ~ 2階部分		
------	--------------------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 ~ 87,000 円	その他の経費(月額)	73,000 円	
敷金	320,000 円			
保証金の有無 (入居一時金含む)	150,000 円	有りの場合 償却の有無	有(2年)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400 円 (月額 42,000 円)			

(4) 利用者の概要 (2月13日現在)

利用者人数	8 名	男性	1 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88 歳	最低	77 歳	最高	102 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新緑ホームケアクリニック、横浜新緑総合病院、服部歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この事業所は、田園都市線・JR線長津田駅より徒歩10分の市街地にある。運営方針は、利用者が住み慣れた地域で、家庭的な環境の中、残存能力を維持しその人のペースで自由に暮らし、自己実現ができるように支援することである。また、職員が将来この事業所でお世話になりたいと思える施設を目指している。職員の定着がよく落ち着いて安定した介護が行なわれている。内科・歯科の提携医が週1回往診している。ターミナルケアの受け入れにも努めている。四季折々の行事が企画され、地域の行事にも出かけている。その他、コーラスなどのボランティア、近隣の子供たちとの交流など地域と交流している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価では改善点は無く、職員の励みになった。評価結果は利用者・家族・職員に説明し、玄関に掲示している。評価にない気付きも職員から提案があれば改善し、サービスの質の向上に努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回で3回目の外部評価受審である。この1年間の業務を振り返るため、管理者が評価の意義を説明し、全職員が参加して自己評価を作成した。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、平成19年9月7日に第1回、平成20年1月25日に第2回が開催された。利用者・家族・自治会長(民生委員)・老人会長・地域包括支援センター主任相談員・管理者・職員が参加している。会議では事業所案内・行事説明・経過報告を行なっている。今後は地域の理解・協力を得るための取り組みなども話し合い、サービスの質向上に積極的に取り組む意向である。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族には月に最低1~2回の来訪を呼び掛け、意見・要望を聞いている。相談・苦情の申し立て先は、重要事項説明書・運営規定に明記している。玄関にご意見箱を置いている。家族会はクリスマス会に合わせ開催しているが、これまでに苦情になるような問題は発生していない。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、どんと焼き・盆踊り・小学校の運動会など様々な行事に参加している。利用者は老人会の清掃に参加したり、回覧板を回したり選挙にも出かけている。近隣の子供は敬老の日のお祝いやハロウィンの際にもホームを訪れている。オカリナ演奏、コーラスなどのボランティアも訪れている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初からの事業所独自の理念を踏襲している。利用者が住み慣れた地域で家庭的な環境の中、残存能力を維持し、その人のペースで自由に暮らし、自己実現ができるように支援している。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は事業所の玄関に掲示されている。毎日、朝9時と午後3時半の申し送り時やカンファレンス・職員会議で話し合いの機会を持ち、理念の共有を図り、日々のサービス提供場面に活かせるように意識づけをしている。職員は理念をよく理解している。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、どんと焼き・盆踊り・小学校の運動会など様々な行事に参加している。利用者は老人会の清掃に参加したり、回覧板を回したり選挙にも出かけている。近隣の子供たちは敬老の日のお祝いやハロウィンの際にホームを訪れている。オカリナ演奏・コーラスなどのボランティアも訪れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回で3回目の外部評価受審である。この1年間の業務を振り返るため、管理者が評価の意義を説明し、全職員が参加して自己評価を作成した。これまでの評価結果は職員間で回覧し、玄関に掲示している。前回の評価では改善点が無く、職員の励みになった。評価以外での気付きも職員から提案があれば改善している。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、平成19年9月7日に第1回、平成20年1月25日に第2回が開催された。利用者・家族・自治会長(民生委員)・老人会長・地域包括支援センター主任相談員・管理者・職員が参加している。会議では事業所案内・行事説明・経過報告を行なっている。今後は地域の理解・協力を得るための取り組みも話し合い、サービスの質向上に積極的に取り組む意向である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区役所の担当者とは日常的に事業の相談・連絡を行っている。また、横浜市高齢者認知症グループホーム協議会の青葉区・緑区の幹事を務めており、区役所の担当者とは頻りに意見交換している。 ケアプラザや小学校から依頼を受け、認知症高齢者の理解に係わる講演を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らし方や健康状態は、家族の来訪時に説明し、突発的な病気・ケガは、随時電話で知らせている。また、家族の要望を聞く機会を多くするため、小遣い・行事費用の授受確認は来訪時に行なっている。毎月1回「コスモス通信」を発行し、手紙を添えて暮らし方を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には月に最低1～2回の来訪を呼び掛け、その際に意見・要望を聞いている。相談・苦情の申し立て先は、重要事項説明書・運営規定に明記している。玄関にはご意見箱を置いている。家族会はクリスマス会に合わせて開催しているが、これまでに苦情になるような問題は発生していない。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設直後に病気による管理者の交代があったが、その後は異動は無い。職員の採用は、社会的ルールを理解し、介護などの経験があり、経済的にも安定した高齢者を多く採用している。ここ1年以上異動がなく、落ち着いた介護が行なわれている。70歳を超えても夜勤をする職員がおり、利用者にも慕われている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時は、基本的な研修とOJTを行なう。スキルアップ研修として、職員はターミナルケア・認知症・口腔嚥下・グループホームのケアのあり方・成年後見制度など多種の外部研修を受講している。受講者は報告書を作成し、会議で報告し情報を共有している。研修参加費は事業所で負担している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の青葉区・緑区ブロックの幹事を務め、同業者間の見学会・勉強会などを開催しサービスの質向上に取り組んでいる。また、ヘルパー2級講座の実習生を受け入れている。ケアプラザから認知症講座の講師の依頼があり、派遣している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居希望者の居宅を訪問し、利用案内書でホームの説明を行なっている。入居前に行事の見学や体験入居などでホームの雰囲気を覚えてもらい、徐々に馴染めるように工夫している。落ち着くまでは家族に訪問の協力をお願いしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と同年代の方もおり、家族同様の生活をしている。調査日の様子では、調理・片付け・食器拭き・洗濯物たたみなどを行なう際は利用者・職員の区別なく、ごく普通の家庭のようにお互いに支えあって暮らしていた。また、調査日は、利用者の誕生会を行っており、家族を招き、皆でお祝いをしていた。職員は、利用者からお雑様の飾りつけ、困ったときの体験談を学んでいる。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日々の行動を観察し、本人・家族から意向や希望を聞き、東京センター方式のアセスメントシートに記入している。職員の気付きは業務日誌に記入して申し送り、全職員が情報を共有している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全職員でカンファレンスを行ない、その時の利用者・家族の意向を聞き、残存機能を引き出すことなどが話し合われている。利用者の視点に立ちICFの理念に基づき、個別具体的な介護計画を作成している。家族には説明し、同意をもらっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居間もない時期は2週間に1回介護計画を見直している。心身の状態が安定している利用者については、月に1回全職員でカンファレンスを実施している。また、状態の変化を察知した場合は、随時カンファレンスを開催して介護計画の見直しを行なっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の要望には柔軟に対応し、利用者の体調不良時の通院は職員が付き添っている。利用者が入院した場合は、家族や病院と連携して早期退院に努めている。ターミナルケアの要望にも応えている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は、入居後は事業所と提携している協力医療機関の往診を受けている。内科・歯科は週1回の往診があり、緊急対応も可能である。年に1回健康診断を実施している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応については、利用者・家族・提携医師・事業所で最善策を話し合い、訪問看護事業所の支援を受けて対応している。職員は、ターミナルケアの外部研修を受講している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護については、利用者・家族および職員と同意書を交わしている。重要書類は、事務室の書庫に保管し、特に重要なものについては施錠保管している。利用者の尊厳については全体会議で話し合っている。調査日の職員の態度、言葉使い、トイレ誘導などは穏やかでさりげない対応であった。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所のスケジュールはあくまで一つの目安であり、利用者一人ひとりのマイペースの暮らしを支援している。日々の支援は、利用者の意思や表情・しぐさを確認しながら行なっている。笑顔の絶えないホームである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望を聞き、旬の食材を採り入れている。ホームには調理師の資格を持つ職員がいる。食材の買出しは、週に4日で、残りの3日は外出や介護にあてるため配食業者に委託している。職員は利用者と同じテーブルにつき会話を楽しみながら介助していた。利用者は、準備・後片付けに参加していた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を聞き、一日おきに入浴している(平均的には週に3回)。洗身自立の人と介助が必要な人が半数ずついる。入浴したがない人はいない。同性介助が行われている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者に役割を担ってもらうため、おしぼり・食器洗い・食器拭き、洗濯物たたみを行なってもらっており、参加した利用者名が業務日誌に記入されていた。利用者は、じゃがいもの皮むきなどを自主的に行っていた。レクリエーションでは歌唱・すごろく・トランプを好んで行っている。四季折々の花見・ひな祭り・七夕・クリスマスなどの年間行事が企画されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員が毎日付き添い、気晴らしや外気浴のため、買い物・散歩に出かけており、生活リハビリにもなっている。高座渋谷での花見、四季の森・ズーラシア動物園、ケアプラザの図書館・作品展に出かけている。外出時の楽しそうな写真が玄関に掲示されていた。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関が幹線道路に接しているが、昼間は見守りとセンサーチャイムで対応し施錠はしていない。利用者が落ち着かない時のみ施錠する。徘徊の心配がある人には、家族に作ってもらった連絡先を背中に貼布する。このほか、目立ちにくいワッペンを貼ることもある。緑区にSOSネットワーク徘徊支援制度が出来たら登録する予定である。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の立会いで、年に1回消火・避難訓練を実施している。夜間を想定した訓練は行なわれていない。非常食と飲料水は3日分備蓄している。地域との防災協定・合同訓練については、実施したい意向で、運営推進会議に提案している。		自治会や自衛消防団などと(相互)防災協定を締結し、合同で防災訓練を行なうことが望まれる。併せて夜間を想定した訓練も期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の嗜好を把握し献立を作っている。刺身が好きな方が多い。栄養バランスやカロリーは、管理栄養士である職員がチェックしている。配食業者にも管理栄養士がいる。毎日の摂食量や水分摂取量をチェックシートに記録している。このほか、バイタル・排泄・入浴などを記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には船舶模型や行事の写真などが飾られている。共用空間の家具・照明は一般家庭と同じものを使用している。1階の居間にはピアノ・テレビがあり、人形・花などが飾られ清潔感がある。仲の良いグループが三々五々寛いでいる。2階の居室昇降にはエレベーターがある。廊下にもソファが置かれている。浴室更衣室は暖房が入り暖かく、トイレや洗面台は車椅子対応で広い。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居案内書で、使い慣れた愛着のある家具などの持ち込みを勧め、これまでに馴染んだ環境づくりを支援している。居室にはベッド・整理だんす・テレビ・冷蔵庫・人形・仏壇・写真などが持ち込まれ、利用者は居心地よく生活している。		

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	コスモス長津田
(ユニット名)	コスモス長津田
所在地 (県・市町村名)	横浜市緑区長津田みなみ台1-6-7
記入者名 (管理者)	尾上 隆二
記入日	平成 20 年 2 月 29 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は重要事項説明書や運営規定に明記されており、管理者とスタッフが日々ケアについて話し合っており、理念の共有化を図っている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの玄関やロッカールームなどに掲示されており、いつでも見る事が出来るようになっているし、日常的に具現化するようにスタッフ同士で話し合っている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの事務所入り口に大きく明示してあります。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の商店などへ利用者と共に食材の買出しに行ったり、散歩の途中に立ち寄るなど、日々日常的な付き合いが出来るように努めている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に参加し、地域の行事にはほとんど全て参加している。又、老人会による清掃にも加わっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣のケアプラザなどで、認知症の理解を啓発する講座の講師をしたりしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全員で作成し外部評価は管理者がスタッフに還元している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			今後、運営推進会議での意見等をサービスに生かしていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	GH連絡会・青葉・緑ブロックの幹事を務めており区や市の担当者とも頻繁に意見交換をしてサービスの向上を図るよう努めている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	順次研修会等にさんかして後見制度などの権利擁護について学ぶ機会を持っている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止法のレジメをスタッフ全員に配布し、ミーティングで話し合い防止に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書を提示し、説明し、理解納得した旨のサインを頂いている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関脇に御意見箱を設置してある。第三者機関の窓口の事も玄関に明示している。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「コスモス通信」を発行しているほか写真や毎月の出来事などを手紙に書いたり、電話などで連絡をとっている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>逐次ご家族と連絡をとり、御意見や御不満等に耳を傾けるよう努めておりますが、今のところ御不満や苦情などありません。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日常的に話し合っております。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>努めている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>努力、配慮している。ここ1年以上離職などありません。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々のOJTはもちろん、市や県などの研修会にも参加してもらいスキルアップをはかっている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会、市の会合を通じて取り組んでいる。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に何回か懇親会を設けている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修や資格獲得を目指して働いて頂いている。就業規則は作成してあります。健康診断に行ってもらおうよう補助もしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所してからもご本人の気持ちを第一に受けとめる努力をしている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御家族からの相談は積極的に承り、助言、手助けなどをしていく。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族への支援は、時の経過と共に変化するので、その都度対応するように努力をしている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になんげに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	GHでは介護する側、される側という認識は利用者の方々はあまりお持ちではない。喜怒哀楽を共にして一緒にすごすのは当たり前の事で互いに支えあってゆく関係を築いていると思う。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	築いている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	支援している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人、友人はいつでも来られる体制をとっているし、来ていらっしやる。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている			関係は把握しており、相互に支えあうように努力します。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	大切にしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の思いを第一に考え、上手く表現できない方に対してもその思いを忖度している。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを通じて把握に努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ICFなどを利用して一人一人の状態を総合的に把握するよう日常的に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			介護スタッフの能力に合わせた計画を作ってしまう事があるので、利用者本位の計画を作成したい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	常に見直しをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のアプローチや取り組みの失敗、成功等気づきをスタッフ全体で共有するように務めている。日々の申し送りや毎月の全体会議で話し合っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	支援できていると思う。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議や防災訓練などを通じて地域と連携している。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の地区センターや他のGHなどに行き行事などに参加している。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括の主任相談員の方と定期的に連絡を取り合っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回訪問医師、看護しが来所して往診している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	治療を受けられるよう支援している。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回訪問医療のほかにも日常的に相談等をしている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	連携して努めている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	共有するよう努めている。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族、医療関係者と共にスタッフ全員でチームを組み支援している。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご自宅で使用していたものや仏壇、仏具などを居室に移してダメージを防ぐ事に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護・個人情報の取り扱いには気を使っている。	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	可能な限り自己決定の支援をしている。	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースで生活して頂いている。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	心得のあるスタッフが散髪や化粧などを行っている。	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お好きな食べ物の注文を聞いて献立を考えている。	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	出来る限りご本人の希望を取り入れている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄のパターンを把握して、声掛け、誘導をしている。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調やご希望に沿って入浴を楽しめるよう努力をしている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	散歩や外出、買い物、昼寝、入浴などを考慮して例えば昼夜逆転など生活のリズムが乱れないように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器洗い、食器拭き、食材の皮むき、配膳準備、清掃などホームでの役割を担って頂いている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の自己管理が出来る方には一緒に買い物に行ったりして支援している。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日等には自由に散歩を楽しまれている方もいらっしゃる。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	良い季節、天候を選んで、利用者全員での外出を楽しんでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自室から家族に電話をしている方、手紙を心待ちにしている方もいらっしゃる。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	24時間いつでも来訪を歓迎しております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開設以来一度も拘束していません。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外部からの不審者の侵入を防ぐ為カギをかけている事もある。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間も定期的に巡視して安全に配慮しています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	異食などの兆候が見られる方などには十分注意をし、包丁などの保管にも配慮している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の日々の変化にも申し送りなどで共有しケア・カンファレンスを通じて事故防止に取り組んでいる。誤薬などのないように声だし確認をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時他の職員や医師が駆けつける体制をとっている。		全ての職員が応急手当出来るようにしたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常持ち出し袋を用意している。地域の人たちとの交流を深める努力をしている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人一人のご家族の方と話し合いを随時行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	きずきの徹底をはかり、情報を共有し、対応している。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人について行っている。		副作用について理解を徹底したい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の予防と対応に日々取り組んでいる。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	週1回の歯科衛生士の来訪のほか、毎晩口腔ケアを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録をとって支援している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	水まわりのところに手洗いの方法を貼ってあるほか、季節ごとに予防のミーティングを行い対策を講じている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫の温度チェックをしている。 食材はその都度必要な分だけ購入している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花を植えたりして親しみやすいよう工夫をしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には花を飾ったり、大きく光を取り入れたりして居心地良く過ごせるようにしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご自分のペースで皆さん過ごされています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の好みに合わせて居室を使用されています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節などはこまめにチェックしています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している			手すりなどが居室内にもついていると良いと思われるときがある。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人の御希望を具現化するよう支援している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	近くに複数の公園があり、天気恵まれた日には毎日のように散歩に出かけている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気の中で、安心して、安楽に過ごせるように心がけています。